

8月6日は那賀川の日 なかがわ探検バスツアーを開催 最古のへんろ道「かも道」を歩いてみよう！！ ～那賀川下流域の歴史について～

那賀川には、「阿波の八郎」という愛称があります。そこで、「八郎（86）」にちなんで、平成24年度に「8月6日」を川に親しんでもらおうと「那賀川の日」に制定しました。

今年度は、令和5年8月6日（日）に、「ゆきかう那賀川推進会議」主催、「那賀川アフターフォーラム」共催による「なかがわ探検バスツアー（以下、バスツアー）最古のへんろ道「かも道」を歩いてみよう!!～那賀川下流域の歴史について～」を開催しました。

今回のバスツアーは阿南市・那賀町の小学生子供5名とその保護者等大人9名の計14名に参加いただきました。

バスツアーのコースについては、今年は最古へんろ道といわれる「かも道」を巡り、お松権現参拝、野神神社、ガマン堰跡などの歴史的な施設や「排水ポンプ車・照明車」を見学することで那賀川下流域の理解を深め、親しみを感じてもらえるような内容で実施しました。



加茂町一宿寺からスタートし、約1kmほど歩きました（全体の概ね1/4を往復）。「加茂谷へんろ道の会」の横井会長ら3名に、へんろ道にある丁石（ちょうせき）など歴史的な史跡について、説明を受けながら歩きました。



【かも道の説明】



【へんろ道沿いの丁石の説明】



【かも道を歩く参加者】



【かも道を歩く参加者】

参加者は、「かも道」を歩いたあと、加茂谷川の堤防からかも道のある山をバックに那賀川のキャラクターの「りゅうな」と一緒に記念撮影も行いました。



【那賀川キャラクター「りゅうな」と記念写真】

その後昼食をとり、午後は那賀川流域の野神社、がまん堰跡の歴史的な施設を見学しました。



【野神社を見学する参加者】



【ガマン堰跡を見学する参加者】

その後、阿南市辰巳町にある「辰巳水防倉庫」で、排水ポンプ車や照明車について見学や操作体験をしました。



【排水ポンプ車の説明】



【照明車の操作体験】

ゆきかう那賀川推進会議事務局では、今後も「那賀川の日（8月6日）」に開催するバスツアーをはじめとするいろいろな取組により、那賀川流域の上下流交流を深めていき、那賀川への関心を高めてもらうようにしていきたいと思ひます。